

日経平均と世界のテック株の下落は続くのか？

チーフ・ストラテジスト 石黒英之



ポイント① 日経平均株価は一時2,400円超下落

5日の東京株式市場でテック株の寄与度の高い日経平均株価は、一時前日比2,400円超下落し、5万円の大台を割り込む場面もありました。米国では4日、エヌビディア株を中心にテック株が総崩れとなったほか、ゴールドマン・サックスなど米大手金融幹部による相場調整への言及が重なったことも、投資家心理の悪化につながった格好です。

もっとも、今回の日経平均株価や世界のテック株の下落は、年初からの上昇に対する反動色が強いとみられます（右上図）。NASDAQ-100やSOXなどの12ヵ月先予想PER（株価収益率）は近年のピーク水準にまで上昇していたこともあり、バリュエーション面での過熱感が意識された形です。短期的には調整が続く可能性もありますが、相場の過熱感を冷ます健全な調整といえるかもしれません。

ポイント② 株価の上昇基調は今後も続く公算

一方、株価の中長期的な方向性を示す12ヵ月先予想EPSは拡大傾向にあります（右下図）。生成AI（人工知能）需要の拡大を背景に、企業の利益は着実に伸びています。5日の米国株は半導体株を中心に反発しており、下値での買いも入り始めていると思われ、業績拡大を背景とした株価の上昇基調が大きく崩れたわけではなさそうです。

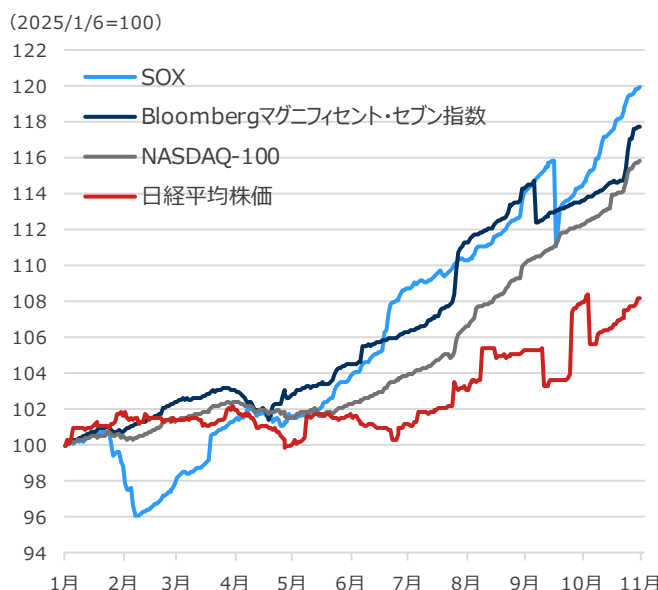
上昇相場の過程では、今回のような一時的な調整はよくあることです。重要なのは、株価の変動に一喜一憂せず、企業業績の動向を冷静に見極めることといえます。バリュエーションの過熱感が和らげば、株価は再び業績に沿う形で最高値更新を試す展開となる可能性が高いと考えられます。中長期の視点を持って取り組みたいところです。

日米主要株価指数の推移



期間：2025年1月6日～2025年11月5日、日次
・Bloombergマグニフィセント・セブン指数はマイクロソフトなど米大手ハイテク7社の株価動向を表す指数
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

日米主要株価指数の
12ヵ月先予想EPS（1株当たり利益）



期間：2025年1月6日～2025年11月5日、日次
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

個別銘柄の記載は、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全体の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2025年11月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家がその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

当資料で使用した指数について

- 「日経平均株価（日経225）」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
- 「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）の商標およびサービスマークです。ブルームバーグまたはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。